



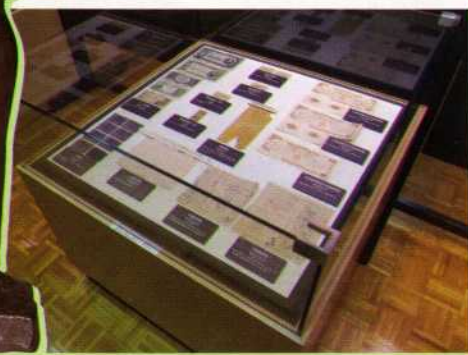
▲ 展示風景



▲ 稚泊連絡船「亜庭丸」の模型



◀ ムックリを奏でる女性像



▲ 引揚げ時関係資料

樺太関係資料館について

○ 設立趣旨

サハリンは、北海道と地理的に隣接しているため、古くから交流・交易が行われるなど、深い関わりがあります。このことから、南樺太に関する資料の展示と現在の北海道とサハリン州との交流状況などを紹介し、両地域の関係について、道民の皆様をはじめ道内外の方々にご理解を深めていただくとともに、友好関係の一層の発展に寄与することを願って開設いたしました。

○ 設置の経緯

北海道では、本道と樺太とは関わりが深いことから、昭和63年に樺太の状況を示す貴重な資料の展示を行う計画を定めました。また、(社)全国樺太連盟からの要望もあり、北海道とサハリン州との関係を認識することや、これまでに築かれたサハリン州との友好関係のさらなる発展に寄与することを目的に、平成4年1月、道庁西18丁目別館に「樺太関係資料展示室」を設置しました。

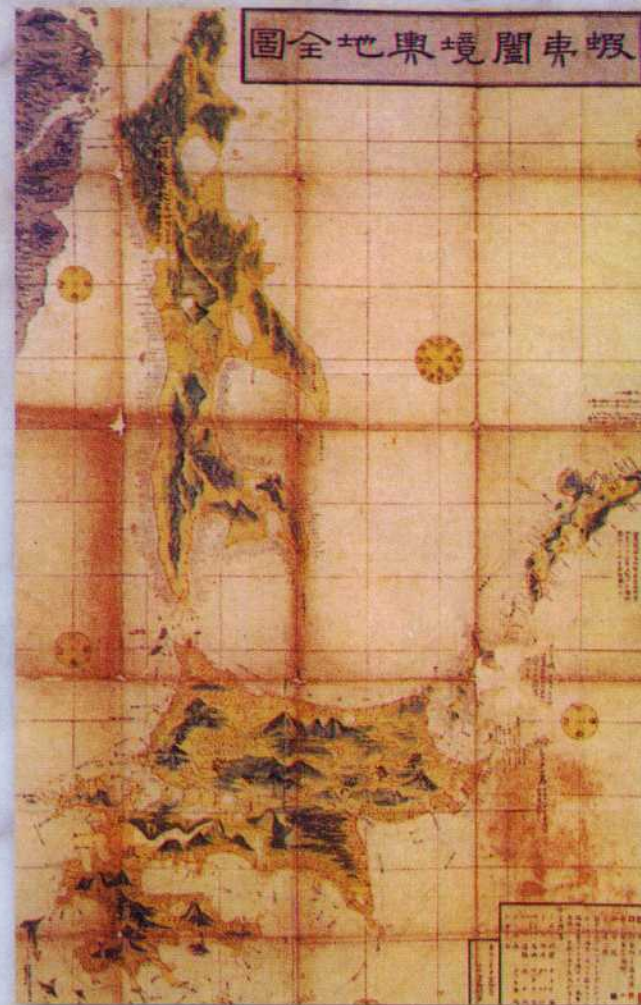
展示室は、多くの方々に資料を供覧し、その歴史的文化的遺産を紹介してきましたが、開設から10年が経過したことから、展示内容をさらに充実させ、両地域の関係についてより一層の理解を深めていただくため、平成16年8月、多くの見学者が訪れる北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）に移転し、名称を「樺太関係資料館」と改称しました。

利用案内

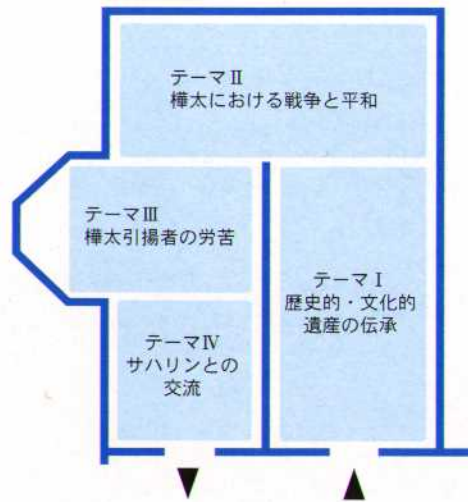
- 所在地 〒060-8588
札幌市中央区北3条西6丁目
北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)2階
Tel 011-231-4111(代)
- 開館時間 8:45~18:00
- 休館日 年末年始
- 交通機関 JR札幌駅から徒歩10分
地下鉄南北線さっぽろ駅から徒歩5分

《発行》北海道保健福祉部福祉局福祉援護課
《編集協力》社団法人 全国樺太連盟

樺太関係資料館



元 蝦夷地東境全圖 1854 (嘉永7)年道立文書館蔵



「樺太」の由来

日本では17世紀、サハリン島を「カラフト」「カラト」などと呼び、「加良不止」「唐太」「唐戸」などの漢字を当てていました。北海道アイヌがカラフト(Karapto)と呼んでいたことに由来すると考えられています。

その後、1809(文化6)年に「北蝦夷地」、1869(明治2)年には「樺太(カラフト)」と公的に呼ぶようになりました。



テーマⅠ 歴史的・文化的遺産の伝承

サハリン島には、古くからサハリンアイヌ、ニヴヒ、ウイльтаなどの人々が生活しており、17世紀終わり頃からは日本人との交易が始まりました。

北海道の北に位置し、積雪寒冷の厳しい気候風土でありましたが、その後、多くの人々が夢を託して樺太に移住し、1941(昭和16)年には40万人以上(うち日本人約38万人)の人々がこの地で生活し、彩り豊かな歴史を残してきました。

ここでは、19世紀から20世紀前半までを中心に、北方風土の様子と、人々がたくましく生きてきた生活文化の足跡を伝える資料を展示しています。

テーマⅡ 樺太における戦争と平和

太平洋戦争の戦局が悪化する中で、人々の生活も大きな影響を受けました。1945(昭和20)年8月、南樺太も戦場となり、多くの人々が犠牲となりました。

ここでは、戦中の樺太における生活を振り返り、平和の尊さを伝える資料を展示しています。

テーマⅢ 樺太引揚者の労苦

戦後、「引揚げに関する米ソ協定」に基づき、1946(昭和21)年12月から、本土への引揚げが開始されましたが、多くの人々は、喜びのうちに帰国したものの、なおも戦後の苦難の生活を続けなければならませんでした。

一方、樺太にやむなく残留しなければならなかった人々も多数おり、ともに苦難の道を歩まなければならませんでした。

ここでは、樺太からの引揚げの労苦を伝える資料を展示しています。

テーマⅣ サハリンとの交流

戦後、国や民間団体の努力により、サハリンに残留した人々の永住帰国や一時帰国が実現し、多くの人々が帰国しました。

1965(昭和40)年、サハリン墓参が国の主催で行われ、1966(昭和41)年から2004(平成16)年まで、北海道の主催による墓参を実施しました。

北海道とサハリン州は1998(平成10)年11月に「友好・経済協力に関する提携」に調印、2001(平成13)年には、サハリン州に「北海道サハリン事務所」を開設するなど、交流はますます盛んになっています。

ここでは、近年の北海道とサハリン州との交流を伝える資料を展示しています。

樺太略年表

1684~1687 (貞享年間)	松前藩が北海道宗谷に交易所設置 =サハリンアイヌとの貿易
1809(文化6)	間宮林蔵、樺太が島であることを確認
1855(安政2)	日露通好条約締結 日露共同領有
1869(明治2)	蝦夷地を北海道、北蝦夷地を樺太と改称
1875(明治8)	樺太・千島交換条約締結 ロシア領
1886(明治19)	北海道庁設置
1904(明治37)	日露戦争開戦
1905(明治38)	日露戦争終結・ポーツマス条約締結 南樺太(北緯50度以南)日本領
1907(明治40)	樺太庁設置
1917(大正6)	ソビエト政権樹立
1941(昭和16)	太平洋戦争開戦
1945(昭和20)	太平洋戦争終結
1946(昭和21)	「引揚げに関する米ソ協定」成立 南樺太からも引揚げ開始
1951(昭和26)	サンフランシスコ平和条約締結 南樺太の領有権を放棄
1956(昭和31)	日ソ共同宣言調印=日ソ国交回復
1965(昭和40)	サハリン地域(樺太)墓参実施(国主催)
1966(昭和41)	サハリン地域(樺太)墓参実施(道主催)
~2004(平成16)	
1973(昭和48)	日ソ共同声明
1990(平成2)	サハリン北海道人会設立
1991(平成3)	ロシア連邦成立
1998(平成10)	北海道とサハリン州「友好・経済協力に関する提携」調印
2001(平成13)	北海道サハリン事務所開設
2005(平成17)	北海道とサハリン州「北海道知事高橋はるみとサハリン州知事マラホフI・Pとの会談結果に関する覚書」交換